

科目名	農業情報処理	単位数	2単位	学科・学年	食品ビジネス科 1年																																																							
使用教科書	農業情報処理	実教出版	副教材等	パソコン・検定模擬問題集																																																								
学習目標	<p>社会における情報化に進展と情報の意義や役割を理解させ情報処理に関する知識と技術を習得させるとともに農業分野の各分野で情報及び情報手段を活用する能力と態度を育て、情報通信ネットワークの活用による情報の収集・処理・発信などの授業・実習を通して、身の回りの課題を解決するために必要な基礎的知識を習得するとともに、情報を主体的に活用しようとする態度、情報を活用する実践力を身に付けることを目的とした学習内容となっている。</p> <p>また、コンピュータや情報ネットワークなどの利用において配慮すべき事項や情報化の発展が生活に及ぼす影響などの学習を通して情報化社会に参加する態度を身に付ける。</p>																																																											
学習評価	<p>○ 次の四つの観点に基づき、学習内容のまとめり（定期考査までを学習のひとつまとめり）ごとに下の評価規準により評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。</p> <table border="1"> <tr> <td>①関心・意欲・態度</td> <td colspan="5">コンピュータや情報通信ネットワークに関心を持ち、農業分野の問題を意欲的に解決しようとしている。主体的に情報の収集・処理・発信を行い、自他を評価・改善し、情報社会に積極的に参画しようとしている。</td> </tr> <tr> <td>②思考・判断・表現</td> <td colspan="5">情報モラルを踏まえた適切な判断ができている。情報の特徴に応じた処理手順や処理方法の適切な選択ができている。</td> </tr> <tr> <td>③技能</td> <td colspan="5">問題解決においてコンピュータや情報通信ネットワークを活用する技能を修得している。目的に応じた情報の適切な表現ができている。</td> </tr> <tr> <td>④知識・理解</td> <td colspan="5">情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を身に付けている。情報社会における情報技術の役割や影響を理解している。</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td rowspan="5">  </td> <td>評価方法\観点</td> <td>①</td> <td>②</td> <td>③</td> <td>④</td> <td></td> </tr> <tr> <td>学習状況の観察</td> <td>◎</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>自己評価の実施</td> </tr> <tr> <td>自己評価シート</td> <td>◎</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>確認テスト・課題レポート</td> <td>○</td> <td>◎</td> <td>○</td> <td>◎</td> <td>要所で実施</td> </tr> <tr> <td>学習課題</td> <td>○</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>○</td> <td>各授業での学習課題</td> </tr> </table> <p>※表中の◎は観点の中でより重視するところです。</p>					①関心・意欲・態度	コンピュータや情報通信ネットワークに関心を持ち、農業分野の問題を意欲的に解決しようとしている。主体的に情報の収集・処理・発信を行い、自他を評価・改善し、情報社会に積極的に参画しようとしている。					②思考・判断・表現	情報モラルを踏まえた適切な判断ができている。情報の特徴に応じた処理手順や処理方法の適切な選択ができている。					③技能	問題解決においてコンピュータや情報通信ネットワークを活用する技能を修得している。目的に応じた情報の適切な表現ができている。					④知識・理解	情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を身に付けている。情報社会における情報技術の役割や影響を理解している。						評価方法\観点	①	②	③	④		学習状況の観察	◎	—	○	—	自己評価の実施	自己評価シート	◎	○	○	○		確認テスト・課題レポート	○	◎	○	◎	要所で実施	学習課題	○	◎	◎	○	各授業での学習課題
①関心・意欲・態度	コンピュータや情報通信ネットワークに関心を持ち、農業分野の問題を意欲的に解決しようとしている。主体的に情報の収集・処理・発信を行い、自他を評価・改善し、情報社会に積極的に参画しようとしている。																																																											
②思考・判断・表現	情報モラルを踏まえた適切な判断ができている。情報の特徴に応じた処理手順や処理方法の適切な選択ができている。																																																											
③技能	問題解決においてコンピュータや情報通信ネットワークを活用する技能を修得している。目的に応じた情報の適切な表現ができている。																																																											
④知識・理解	情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を身に付けている。情報社会における情報技術の役割や影響を理解している。																																																											
	評価方法\観点	①	②	③	④																																																							
	学習状況の観察	◎	—	○	—	自己評価の実施																																																						
	自己評価シート	◎	○	○	○																																																							
	確認テスト・課題レポート	○	◎	○	◎	要所で実施																																																						
	学習課題	○	◎	◎	○	各授業での学習課題																																																						
履修上の注意	<p>◇学習の理解の難しいところ、つまづいている箇所があれば早めに質問をして解決しましょう。</p> <p>◇資格試験への取り組みについても積極的に活用しましょう。</p>																																																											

学期	学 習 内 容	時 数	学 習 の ね ら い	学 習 活 動 ( 評 価 方 法 )
1 学 期	第3章 コンピューターによる情報の活用 1 日本語ワードプロセッサの利用 ①ワープロソフトウェア ②ワープロの基本機能 2 ワープロの基本操作 ①入力 ②保存と読み込み  2 日本語ワープロ検定試験に向けた練習 3級速度問題の練習	4     6  6  2   6	日本語ワードプロセッサの特徴と機能を理解する   日本語ワードプロセッサの文字入力方法、キーボードの操作、保存の仕方を学ぶ  タッチタイピングの練習をし、文字を早く、正確に入力、変換する練習を行う。入力した文字の訂正、挿入、移動、コピー、保存、編集の方法を学習する。表の作成方法、位置の調整の方法を学習する  10分間で300文字以上を目標に練習をする。 タッチタイピングの練習をし、文字を早く正確に入力、変換する練習をする	教科書・学習プリントに則して、板書・図表等を活用し諸項目を系統的に学習します。 【学習状況観察】 【自己評価】 【確認テスト】  教科書・学習プリントに則して、板書・図表等を活用し諸項目を系統的に学習します。 【学習状況観察】 【自己評価】 【確認テスト】
	3級速度問題、文書問題の練習	12	ページ設定の方法、半角全角数字の区別、文字の編集、表の作成、保存方法を定着させる。	実際にパソコンを使用し、ワープロの文字入力・編集・表の作成など入力練習を基本とします。 【学習状況観察】 【自己評価】 【学習課題】
	日本語ワープロ検定試験模擬試験	4	3級ワープロ検定試験の速度、文書問題を繰り返し練習し、10月の資格取得試験を目指す。	
	日本語ワープロ検定試験模擬試験  日本語ワープロ検定試験模擬試験  図を含んだ文書の作成	4  6	3級ワープロ検定試験の速度、文書問題を繰り返し練習し、10月の資格取得試験を目指す。  ワードにおける図形の挿入やワードアートの作成方法などを身に付け、文書作成の技術を高める。	教科書・学習プリントに則して、板書・図表等を活用し諸項目を系統的に学習します。 【学習状況観察】 【自己評価】 【課題レポート】
3 学 期	第3章 コンピューターによる情報の活用 1 表計算ソフトウェアの概要 ①表計算ソフトウェアの特徴 ②ワークシートとセル 2 票の作成と表計算 ①入力 ②表の編集1 ③表の編集2 ④関数の利用	3  3 3  2 3	情報処理技能検定試験3級の問題を繰り返し練習し、7月の資格取得試験を目指す。	コンピューター室で実際にパソコンを操作し、文字、計算式、関数の入力を行い表を仕上げる作業をします。 【学習状況】 【自己評価シート】 【課題レポート】
	情報処理技能検定表計算3級に向けた練習	3		
	情報処理技能検定表計算3級に向けた練習	3		